



2107

使用説明書

動物用医薬品

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

日生研乾燥鶏痘ワクチン

(鶏痘生ワクチン (シード))

[製法及び性状]

本剤は、弱毒鶏痘ウイルスボーデット株を SPF 鶏群由来の発育卵で増殖させ、その感染漿尿膜乳剤に安定剤を加えて凍結乾燥したのち、減圧下で封じたものである。

乾燥ワクチンは、淡黄褐色の乾燥物で、日局の精製水を加えて振り混ぜると容易に溶解し、やや混濁した乳灰白色の均質な液体となる。

[成分及び分量]

ワクチン 1 本 (1,000 羽分) 中

発育鶏卵培養弱毒鶏痘ウイルスボーデット株 (シード)	10 ^{6.0} EID ₅₀ 以上
脱脂粉乳	50mg
ペプトン	100mg
ベンジルペニシリンカリウム	300単位
硫酸ストレプトマイシン	300 μ g (力価)

[効能又は効果]

鶏痘の予防

[用法及び用量]

乾燥ワクチンを日局の精製水 10mL で溶かしたのち、リカ式ワクチガン (株式会社リカ社製、承認番号：農林水産省指令 60畜A第3764号) を用いて鶏の翼膜に約 0.01mL ずつ穿刺接種する。

[使用上の注意]

(一般的注意)

1. 本剤は獣医師の適切な指導の下で使用すること。
2. 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
3. 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
4. 本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

(使用者に対する注意)

1. 誤って人に接種した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。

本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗 原		アジュバント	
	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
鶏痘ウイルス	否	生	無	

本ワクチン株は、人に対する病原性はない。

本ワクチンに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

日生研株式会社 製品係 〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221 番地の1
TEL 0428-33-1009、FAX 0428-31-6696

2. 作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

(鶏に対する注意)

1. 制限事項

- (1) 本剤の接種前には健康状態について検査し、重大な異常 (重篤な疾病) を認められた場合は接種しないこと。
- (2) 鶏が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、接種適否の判断を慎重に行うこと。
 - ・元氣消失、食欲不振、発熱、下痢、呼吸器症状等臨床異常が認められるもの。
 - ・疾病の治療を継続中のもの又は治療後間がないもの。
 - ・明らかな栄養障害があるもの。

- ・他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。
- (3) ワクチン接種後は、飼育管理に十分に注意し、鶏に与えるストレスの軽減に努めること。
- 2. 副反応
本剤接種後3日頃から穿刺された翼膜部にワクチンによる善感発痘が見られるが、痘ほうは21日以内には消退する。
- 3. 相互作用
本剤には他の薬剤（ワクチン）を加えて使用しないこと。
- 4. 適用上の注意
(1) 移行抗体価の高い個体では、ワクチン効果が抑制されることがあるので、接種時期を考慮すること。
(2) 初回と2回目の接種は、翼（左右）をかえて接種すること。
(3) 接種後5～7日頃接種鶏の一部について善感発痘の有無を検査すること。その結果、発痘していない場合には再接種すること。

[取扱い上の注意]

1. 乾燥ワクチン瓶内は、真空になっており破裂するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
2. 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
3. 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
4. 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
5. 使用時よく振り混ぜて均一とすること。
6. 溶解は使用直前に行い、溶解後は速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
7. 使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。
8. 使用済みの接種用穿刺針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

[保管上の注意]

1. 小児の手の届かないところに保管すること。
2. 直射日光又は凍結は、品質に影響を与えるので避けること。

[貯法及び有効期間]

1. 遮光して、10℃以下に保存する。
2. 有効期間は、製造後2年3か月間である（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）。

[包 装]

- 1本 1,000羽分

〔2013年7月改訂〕

日生研株式会社
東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

1212SK20